

離婚・再婚家族と子ども研究投稿論文チェックリスト（2021年12月版）

投稿原稿とともにご提出下さい。

論文題目

()

チェックしたら、()内に「○」あるいは「該当なし」、「いる」を記入してください。

1. 書式、形式、提出物などに関して

- A. A4用紙に1ページ40字×30行で書式設定した。()
- B. 用紙の左・右に3.0cm以上の余白をとった。()
- C. 規定の合計字数(研究論文は27,000字、資料論文と研究ノートは16,000字)以内に収まっている。()
- D. 本文(引用文献を含む)には、ページ番号と行番号を記載した。()
原稿の右余白に、すべての図や表の挿入箇所を示した。()
- E. 必要な提出物(論文題(日本語・英語)、日本語要約、本文、文献、英語要約(必要に応じて、資料、脚注、表、図、付記)がそろっている。()
- F. 投稿論文と内容的に関係の深い、同一著者による論文(関連論文)がある場合、その抜き刷りまたはコピーを提出物に含め、投稿申請書にその書誌情報を記載した。また、関連論文のファイルについては、第1ページ上部に「関連論文」と朱書きし、投稿者の氏名・所属および書誌情報の部分を塗りつぶした。なお、関連論文がない場合は、投稿申請書に「なし」と記載した。()

2. 文章に関して

- A. わかりやすく簡潔で、読み手に確実に内容が伝わる文章にした。()
- B. 主語が不明で、2通りに解釈できる文章はない。()
- C. パラグラフ同士のつながりは明確である。()
- D. 誤字、人名のスペルミス、文献記載の不備等の誤りはない。()
- E. 英文は熟達した人の校閲を経た。()
- F. 印刷中や投稿中の論文を引用する場合には、本文中および文献の箇所で氏名を明らかにせず、単著/共著にかかわらず、「投稿者(印刷中)」「投稿者(投稿中)」と表記した。加えて文献の箇所で投稿先の雑誌名は記載していない。()
- G. 上記以外の形式面は、執筆要項記載の手引き等に従い、1つの形式を一貫して使用し、複数の形式が混在していない。()

3. 図表に関して

- A. 図表は必要なものだけを，わかりやすい形で提示している。()
 - B. 無駄な図表はない。()
 - C. 図と表で示された内容は重複していない。()
 - D. 図や表のタイトルは適切である。()
4. 論文の内容に関すること
- A. 方法や結果が過不足なく記述されている。()
 - B. 方法に不明な点はない。()
 - C. 主要な結果を中心にまとめられている。()
5. 統計に関して
- A. 適切な統計的手法を用いている。()
 - B. 検定対象のデータが，その検定を使用するための前提条件を満たしている。()
 - C. 検定結果の解釈は妥当である。()
6. 倫理的配慮について
- A. 研究に，倫理的配慮が必要な手続きないし項目が含まれていない。なお，含まれている場合は「いる」と書いてください。()
 - B. 倫理的配慮が必要な手続きないし項目が含まれている場合，配慮した内容が本文中に具体的に記述されている。該当しない場合は，「なし」と書いてください。()
7. 二重投稿の禁止について
- A. この論文は同時に他の学術雑誌に投稿していない。()
 - B. この論文は未公刊である。学術および一般雑誌，大学や研究機関等の紀要，学術および一般図書に掲載されたことはなく，印刷中でもない。()
8. 著作権について
- A. 著作権について十分に配慮した。例えば，①既公刊論文（自身の先行研究論文を含む）における本文・図表・尺度・調査紙（質問項目・検査項目など）の引用に際し出典を明示した。②既公刊論文における図表や尺度・調査紙を改変して引用する際，改変したことを論文に明記した。③また改変にあたり許可が必要な場合，著作権を持つ出版社等に許可を得た。④未邦訳の尺度や調査紙を翻訳・翻案して利用し論文に引用する際，著作権を持つ出版社等に許可を得た。⑤自ら関与した共同研究のデータを論文に利用する際，共同研究者やデータの管理者に了解を得た。()